

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 青谷 高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和 3年 5月 11日
------	------	-----	--------------

1 学校目標	
人づくり ～自己肯定感を育み、社会で信頼され、社会に貢献する人材の育成～	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>(1) 地域に関する学習や地域行事への参加などを通して、地域の中で主体的に生き、地域に参画・貢献できる姿勢・態度を養うとともに有用感を高める。</p> <p>(2) 学習成果をまとめたり、発表したりすることや、さまざまな場面で企画、開発、販売などに携わる体験を通して、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養う。</p> <p>(3) 地元企業や地域の人々と連携した取組を通じて、人間関係形成力、社会参画力を養う。</p> <p>(4) ボランティアやその他地域連携に係る取組へ参加することを通じて、充実感や達成感を感じ、自己肯定感を高める。</p> <p>(5) 地域とのかかわりを通じて、地域から応援される学校づくりを推進する。</p> <p><数値目標></p> <p>○地域活動（地域行事やボランティア活動等）に参加した生徒の割合が、全生徒の5割以上である。</p> <p>○地域活動に参加して自己肯定感が高まったと感じる生徒の割合が、参加した生徒の8割以上である。</p> <p>○地域活動等で関わった地域の方々から「青高生は地域に参画・貢献できている」と肯定的に評価される割合が8割以上である。</p>	<p>◇課題探究での実践活動をとおして、地域に参画・貢献する姿勢・態度を養うとともに、地域の方と交流を深めるなかで人間関係形成力や社会参画力を養うことができた。</p> <p>◇課題探究成果発表会や青谷学ポスターセッションを実施して、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養うことができた。</p> <p>◇課題探究の実践発表（あおこうまるしえ）や、青谷学での学習活動をとおして人間関係形成力や自己肯定感を高めることができた。</p> <p>◇草花プランターを飾る地域美化活動等、学校の各種取組を肯定的に評価し、学校を応援する声があった。</p> <p><数値結果></p> <p>○3年次の課題探究の実践活動などを行い、地域行事やボランティア活動に参加した生徒が全生徒の5割以上という目標は達成した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域活動が中止により実施できなかった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の方へのアンケートが実施できなかったが、「あおこうまるしえ」において、外部の方へのアンケートでは、「青高生は地域に参画・貢献できているか」という問に対し、肯定的評価の割合が96%であった。</p>

3 実施事業

【高等学校課事業】

該当事業なし。

【独自事業】

(1) 青谷学

- ・学校設定科目「青谷学」（2年次）

地域の人財を外部講師として活用し、地域の自然・歴史・文化・産業を学習。

課題探究

- ・総合的な学習の時間「課題探究」（3年次）

- ・青谷の水生生物

青谷地区の水棲生物を育成し、特徴を調べる。

- ・青谷の植物

青谷の植物を使った商品開発による6次産業化モデルの検討。

- ・因州和紙の活用

青谷の伝統産業である因州和紙を使い北前船の壁画を制作し、JR青谷駅に設置し、青谷をPR。

- ・弥生の食研究

「弥生時代」の生活をさまざまな実体験を通して今に生かす。

- ・遺跡のPR研究

青谷町内の遺跡や歴史を広める活動を通して、地域を活性化する。

- ・青谷木綿の活用

復活させた「青谷木綿」の活用方法を研究する。

- ・自然酵母で商品開発

地元の酒造業の酒粕から育てた天然酵母を使用したスコーンの商品開発。

- ・魚食の促進

青谷で水揚げされた新鮮な魚を使って手軽に食べられる「魚のナゲット」レシピの作成。

(2) 青谷地域美化活動

- ・thanks a o y a f l o w e r 事業

青谷駅、あおや郷土館など地域の施設に草花プランターを飾る。

(3) 保育実習

- ・すくすく保育園保育実習（3年次）

「子ども文化」の授業の中で、年2回保育実習を実施。

(4) ボランティア活動の推進

- ・保育ボランティア支援

地域のすくすく保育園の土曜保育の手伝いを行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回のみ参加となった。

4 総合所見（成果・評価）

この一年間、コロナ禍により、当初計画していた地域連携事業の多くが実施できなかった。年度の後半、感染症対策を講じながら、連携事業が実施できるようになり、地域のさまざまな方々に支えもあり、地域連携の取組を実施することができた。地域連携の取組をとおして、生徒はコミュニケーション力、プレゼンテーション力や人間関係形成力などを向上させ、自己肯定感も高めることができた。また、学校に対する地域の理解も広がり、学校も活性化した。この取組を今後も継続していきたい。今後も、課題探究や青谷学の取組をとおして、地域の活性化に貢献するような町づくりなどの活動も行っていきたい。

※枚数任意